



みなみ

vol.
118
2016年
冬号



新年あけまして

おめでとつごぞいませす。

本年もよろしく

お願いいたします。

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
- 当院で行うボツリヌス毒素治療について
- 乳がんのお話



新年のごあいさつ



医療法人 健康会 理事長 しみず 清水 まつし 聡

みなさま、明けましておめでとうございます。みなさまの昨年的一年はいかがでしたでしょうか。

昨年は原発再稼働や、安全保障関連法案の可決などあまりよろしくないと思われる事柄を次々と政府はおこなった年でした。また医療界では「地域包括ケアシステム」なるものが話題になった年でもありました。そもそもこの「地域包括ケアシステム」とは「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」という法律が2014年に成立し、国策として「地域包括ケアシステム」が進められているものです。この目的は地域の実情に応じて高齢者が可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した生活を送ることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制を構築することだそうです。しかしこの裏側にはきたるべき超高齢社会においては、今のままの医療、介護システムでは社会保障が破たんするため、何か新しくて公的給付の抑制ができる制度を作りましょうということが隠れています。すなわち国はこれ以上お金を出せませんから、地域の自助・互助で頑張ってくださいということです。

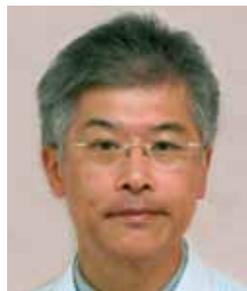
さて、そこで私たち京都南病院グループの活動とこの「地域包括ケアシステム」の目指すことを比較してみますと、新京都市南病院は急性期疾患を、京都南病院は亜急性期から慢性期疾患を治療し、また昨年7月に開設した本院6階の「在宅訪問センター」では、在宅療養部、訪問リハビリ、訪問看護ステーションが一同に集結し、互いに連絡を取り合いながら、ダイナミックに医療介護を提供できるようにしていますし、昨年2月には伏見診療所をリニューアルし、診療所併設のサービス付き高齢者向け住宅「伏見ぬくもりの里」を開設して、高齢者が安心して一人でも暮らせる住まいを提供いたしております。すなわち京都南病院グループはすでに「地域包括ケアシステム」を実践していると言えるのではないのでしょうか。医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制作りを、ますます充実したものにしていきたいと思っています。

私たち医療法人健康会・京都南病院グループは、みなさまと地域の医療、介護を守り、より良い社会になるように活動することを、今年も忘れず遂行していきますので皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



ちゃんと
知っとこ!

その べ ま さ のぶ
神経内科医師 園部正信



当院で行う ボツリヌス毒素治療について

皆さんは、「ボツリヌス毒素」と聞いて何を連想されるでしょうか。一般に食中毒の原因菌として知られ、また1歳未満の乳児においてはハチミツに存在する同菌の芽胞により発症し命を落とすことがあります。食することが禁止されており「危険、毒物」のイメージが強いと思います。ボツリヌス毒素は神経・筋接合部に作用し、全身の筋麻痺をきたし、毒素1gで100万人の殺傷力があり、毒素としては青酸カリの20万倍とされています。

このような強力な毒素ですが、精製・微量に調整され、異常に亢進した筋緊張（痙縮）を緩和する薬剤として開発され、国内にて1996年に使用承認されました。私は使用承認と同時に同薬剤を用いた神経筋疾患治療に19年間携っています。ボツリヌス毒素治療につきもう少し説明させていただきます。現在国内で製造されているのはA型ボツリヌス毒素（商品名ボトックス）とB型ボツリヌス毒素（ナーブブロック）であり、当院で使用するのは前者のA型ボツリヌス毒素です。同剤を筋肉内に注射しますと、注射した筋に限局して、神経終末から筋収縮の指令をだす神経伝達物質であるアセチルコリン分泌が阻害され筋収縮を抑制し、けいれん・つっぱりを軽減します。その効果発現には数日要し、安定した効果は1週以降で、効果の持続は3～6か月、有効率は50～95%です。初回は少量投与とし、効果を見ながら2回目以降投与量を調整するようにしています。

国内での使用許可順にあげますと、眼瞼けいれん

（1996年）・片側顔面けいれん（2000年）、痙性斜頸（2001年）、上肢・下肢痙縮（2011年）となります。当院は入院外来ともに高齢の方が多く、脳卒中後遺症や神経変性疾患が背景にあることが多いです。痙縮は脳卒中の後遺症であったり、神経難病においては慢性進行性でよくなるものとは諦めている方も少なくありません。しかし、ご本人にとっては思うように動かないだけでなく痛みを伴ったり、介護において着替えやおむつ交換時に手や足が伸ばせず困っている方が大勢いらっしゃいます。筋電計を用いて正確な部位診断をおこない、必要に応じて針筋電図や超音波でモニターしながら治療を行うよう推奨されており、治療できる医師が限定され、医療機器を用いながらの治療となるため病院での治療が一般的です。しかし重度の麻痺や老老介護で病院受診が困難な方もいらっしゃいます。このような病院受診の困難な方に対しても訪問診療での治療が可能な場合もあります。**京都南病院では毎土曜日午前外来、伏見診療所は毎金曜午前、往診は適宜相談となります。**注射とリハビリを組み合わせることで相乗効果が期待できるとされており、2～3週間入院にて注射とリハビリ訓練をうけていただくこともできます。

治らなくても諦めない、非がん疾患の緩和ケアやエンド・オブ・ライフケアを配慮した医療ケアの実践を心がけたいと思いますのでお気軽に受診・相談ください。

当院では美容目的のボツリヌス毒素治療は行っておりません。

乳がんのお話



たかの るみ
外科医師 鷹野留美

最近テレビでよく乳がんが話題となり、ご心配されている方も多いことでしょう。

すでにご存じのことかもしれませんが、乳がんは女性がかかる癌の中で1番多く、12人に1人の方が乳がんを発症するといわれています。

癌はその進行度により1期~4期に病期を区別します。4期が最も進行している癌です。

病期が進行するにつれて亡くなる方はもちろん増え、5年生存率、10年生存率は低下していきます。1期であれば約90%の方が10年生存されますが、4期では約20%の方しか生存されません。どんな癌、病気もそうですがより早く発見し、適切に治療を行うことが最も大切なことです。

乳がんは、乳房の中の乳管組織（母乳を乳頭まで運ぶ管）や小葉組織（母乳を作る部分）から発生します。約90%は乳管組織からの癌で、約10%が小葉組織からの癌です。

20歳を過ぎたころから認められるようになり、罹患率（病気になる人の割合）は徐々に増え、30歳半ばを超えると右肩上がりに増えて40歳から50歳代にピークとなります。60歳代になれば安心かというところではありません。50歳を超えても罹患率は緩やかに下がるだけで高値のまま推移します。乳房を乳頭部、上下左右5つの部分に分けると、乳がんの約45%は上部の外側に発症しています。その次に多いのが上部の内側で約25%、下部外側が約15%、下部内側と乳頭下がともに約7.5%です。

乳がんは女性の癌の罹患率1番ではありますが、癌で亡くなる方は大腸がんや肺がんのほうが多く、

乳がんは1番ではなく5番目です。しかし残念ながら30歳から64歳までの働き盛りの女性の癌による死亡の1番です。日本の乳がんの死亡者数は20年前の1995年には7736人でしたが、2013年には13145人に増加しています。

アメリカ、イギリス、日本を比較すると、より早くから乳がん検診が行われてきたアメリカとイギリスでは、乳がんになる人の数は増えていますが死亡率は減少傾向にあります。しかし日本だけは死亡率が上昇傾向にあり、乳がんになられた方の約20%が亡くなっています。死亡率減少のためにはやはり早期に発見し、治療を行うことが大切なのです。

乳がんの早期発見には自己検診と画像検査が有効です。早期の癌では自己検診や医師の触診で触ってわからないものもありますが、触ってわからないものでも、マンモグラフィ、エコーなどの画像検査で発見できることがあります。ですから触診と画像検査を組み合わせる行うことが大切です。そして検診は1回受けて安心してしまおうのではなく、継続して受けて安心を重ねていくことが大切です。

乳がんが皆さんの命を脅かす怖いものとならないために検診をおすすめします。

乳腺外来は京都南病院で月曜日と木曜日の午後診で行っております。

受付時間 14:30 ~ 17:00

診察時間 15:00 ~

月曜日 鷹野 留美 先生

木曜日 廣間 文彦 先生

詳しくは京都南病院にお問い合わせ下さい。

How to マンマチェック

月に1回、日にちを決めてやってみよう!

マンマチェックを行う時期は月経後か、閉経された方は誕生日や記念日など覚えやすい日にとすると良いでしょう。

チェック 1 見て

「くぼみ・ふくらみ」
「ただれ・変色」
「ひきつれ」
はありませんか?

鏡の前に立ち頭の後ろで手を組み胸の筋肉を緊張させ、色や形を見て下さい。



チェック 3 つまんで

「血が混じったような分泌物」
は出ませんか?

指で乳頭の根元を軽くつまんで、分泌物が出ないか調べてください。



チェック 2 さわって

「しこり」
ありませんか?

4本指で「の」の字を書くように、指先で軽くなでるように「しこり」の有無を調べてください。



ワキの下もよくcheck!

チェック 4 横になって

「しこり」
ありませんか?

仰向けに寝て、背中の下に低めの枕か畳んだタオルを入れて、乳房をさわって、しこりを調べてください。



乳房やワキの下などに異常を見つけたら、すぐに乳腺(外)科で診察を受けて下さい。

“しこり”にならないタイプの乳がんもあり、早期に発見できるのがマンモグラフィーやエコー検査です。

認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)より <http://www.j-posh.com>

サービス付き高齢者向け住宅
「伏見ぬくもりの里」入居者募集中

残りわずかとなっております。

☎075-661-2324

伏見診療所・伏見ぬくもりの里

伏見区銀座3-31-8

(京阪「丹波橋」「伏見桃山」駅から徒歩約10分・約300m)



看護師募集

応募資格: 看護学校を卒業見込の方または卒業者
職員募集: 若干名

介護職募集

募集の詳細は京都南病院ホームページにも掲載しております。
<http://www.kyotominami.or.jp/recruit/index.html>



詳しくは、下記にお電話いただくか、右記QRコードのお問い合わせフォームをご利用ください。
(携帯電話をかざして読み込んでください) →

京都南病院・総務課 (青木) ☎075-312-7361

<http://www.kyotominami.or.jp/form/index.html>



分院

※診療時間など詳細は、各分院にお問い合わせください。



医療法人 健康会

総合病院 京都南病院

〒600-8876 京都市下京区西七条南中野町 8

TEL 075-312-7361 (代表) / FAX 075-311-7965

標榜科目

内科、外科、小児科、婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、心療内科、リウマチ科、リハビリテーション科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、形成外科、こう門外科、放射線科、精神科、糖尿病内科

(精神科・心療内科は事前にお問い合わせください。)

診療時間

【月～金】 午前診 (受付) 8:30～12:00 (診察) 9:00～12:00

午後診 (受付) 13:30～16:30 (診察) 14:00～16:30

【土】 午前診 (受付) 8:30～12:00 (診察) 9:00～12:00

特殊外来は上記時間と異なりますのでお問い合わせください。

関連施設

介護老人保健施設ぬくもりの里
居宅介護支援事業所ぬくもりの里
ヘルパーステーションみなみ
グループホームぬくもりの里
居宅介護支援事業所京都南病院
健康管理センター (人間ドック・職域健診など)
在宅訪問センター
在宅療養部
訪問看護ステーションみなみ
訪問リハビリテーション
サービス付き高齢者向け住宅 伏見ぬくもりの里
社会福祉法人 京都南山城会 山城ぬくもりの里

新京都南病院

〒600-8861 京都市下京区七条御所ノ内北町 94 番地

TEL 075-322-3344

【急患対応のご案内】

日・祝日を含む上記時間以外の時間外診療および救急車での来院については、すべて新京都南病院で診療いたします。

(受付時間) 9:00～12:00 (診療時間) 9:30～12:00

午前診	診療科目	月	火	水	木	金	土
	総合外来	上西基弘	清水聡	陳明俊	清水聡	清水聡	清水聡

(受付時間) 16:30～19:30 (診療時間) 17:00～19:30

午後診	診療科目	月	火	水	木	金	土
	内科	重本直柔	新谷泰久	鉄谷耕平 (17:30～)	第1・3・5週 藤本行紀 第2・4週 大坂貴史	古石隆光	—
	外科	陳明俊	廣間文彦	交替制 (17:30～)	鷹野留美	相馬祐人	—

- お薬は「院外処方」になります。
- 夜診は「内科」・「外科」の2診察体制です。
- 水曜日は診療開始時間が17:30からになります。

医療法人 健康会
京都南病院グループ

メールアドレス: minami_kouhou@kyotominami.or.jp
http://www.kyotominami.or.jp/